

予 算 要 求 資 料

令和 2 年度 9 月補正予算 支出科目 款：農林水産業費 項：畜産業費 目：畜産振興費

事業名 畜産 G A P 拡大推進加速化事業

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 畜産振興課 銘柄推進係 電話番号：058-272-1111 (内 2877)

E-mail：c11437@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 1,287 千円 (現計予算額：1,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	1,000	155	0	0	0	0	0	0	845
補 正 要求額	1,287	1,287	0	0	0	0	0	0	0
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・GAP 認証は 2020 年東京オリンピック・パラリンピックの食材調達基準の採用条件であるとともに、食品の品質・安全性向上、労働安全の確保、環境保全などの経営改善につながり、消費者、実需者の信頼確保が期待できるものである。
- ・GAP 認証は、生産者個人の取り組みでは認証取得が困難であり、GAP 指導技術をもった指導員を育成し、支援を行う必要がある。
- ・農業者向けの研修会を実施し、GAP 認証取得に向けた意欲醸成及び持続的な経営改善を目指す。

(2) 事業内容

- ・高度な GAP 指導技術をもった指導員の育成・維持
- ・県内畜産農家における GAP 認証取得推進、畜産農家向けの研修会開催

(3) 県負担・補助率の考え方

一部国事業利用

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	40	研修会講師謝礼
旅費	120	講師旅費、審査員旅費
使用料	30	会場借上料
負担金、補助金	1,097	指導員基礎研修負担金、JGAP 審査料
合計	1,287	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

・長期構想

5-Ⅱ-2 ふるさと岐阜県の資源を活かした活力づくり

儲かる農業・林業・畜産業を実現し、持続可能な農山村をつくる

・ぎふ農業・農村基本計画

2 売れるブランドづくり

(6) 特色ある職の魅力の発信

(1) 安全・安心な農畜水産物の生産体制の強化

(2) 国・他県の状況

・持続的生産強化対策事業（国）

(3) 後年度の財政負担

・今後、流通業界よりGAPの取得を求められることが予想されるため、指導体制を維持する必要がある、指導員養成の継続（2年毎更新）が必要。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・持続可能な畜産経営の発展のための推進体制の確立
- ・東京オリ・パラへの食材供給による、県産畜産物の販売促進、需要拡大及び知名度の向上を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移	現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
GAP 取得農家数	0 (H28)	(H) (H)	7 (H31)	12 (R2)	%
	(H)	(H) (H)	(H)	(R)	%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
- G A P 普及のための研修会の開催 1 回（50 名）
- J G A P 指導員研修への参加 6 名

（前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
- J G A P 指導員の養成 6 名
- 指導員による農家への助言・指導の開始

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	持続的な畜産経営を続けていくためには GAP 認証取得が必要になることも想定され、事業の必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	GAP の認証取得には時間がかかるため、2020オリ・パラ及びその後想定される流通業界等からの求めに応じられるよう、継続的に認証取得を支援する。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	国事業に公募し、国庫補助事業費を活用している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 GAP 認証取得に向けた意欲のある生産者の掘り起こし。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか GAP 認証取得に向けた取り組みを通じて、持続可能な畜産経営を推進する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	